

## 第2部 基本構想

---

# 第1章 将来像

序論で述べた本市の状況を踏まえて、本市が目指す10年後の姿を基本構想で示します。

## (1) まちの将来像

キラキラと輝く波静かな鏡ヶ浦の向こうに富士山を望むことができる本市は、一年を通じて温暖で、四季折々の様々な魅力を楽しむことができます。

幾多の先人たちが紡いできた歴史や文化が薫るこのまちを次代につないでいくために、本市が目指すまちの将来像を定めます。

## みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山

まちの将来像には、まちづくりに対する次のような思いを込めています。

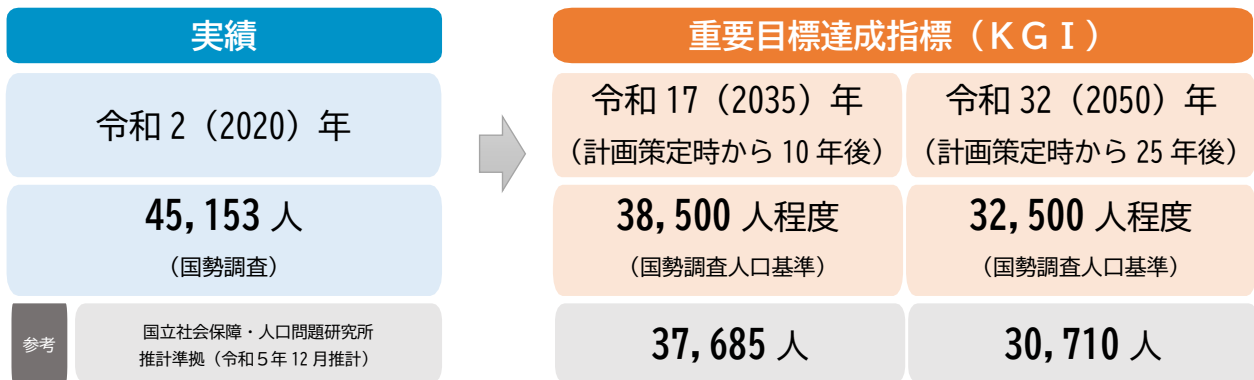
『みんなが主役』	これからのまちづくりは、市民の皆様をはじめとする多様な主体と行政の連携による“協働のまちづくり”が重要です。本市に関わるみんなが幸せを感じ、楽しむことができるまちを目指して、みんなで連携を深めながら取り組んでいきましょう。
『住んで楽しい』	温暖な気候と豊かな自然の中で、子ども達の笑い声があふれ、市民一人ひとりがいきいきと自分らしく、安心して暮らすことができるまちをみんなでつくっていきましょう。さらに、このまちで成長した若者の定住の地として、また、多くの方々の移住や二地域居住の地として選ばれるまちを目指します。
『来て楽しい』	本市は、夏は潮風が涼しく冬は温暖な恵まれた気候、海と山に囲まれた豊かな自然、東京都心からのアクセス性などの地域特性があります。まちの魅力をみんなで磨き上げていくことで、このまちに惹かれた国内外の人々が来訪を重ね、共にまちの価値を高めていく一員となっていくことを目指します。
『まち・館山』	今後も変化し続ける社会情勢や本市のテーマに適切に対応しながら、持続可能なまちであり続け、市民の皆様の地元愛と幸福度を高めていくことが、本市の最終目標です。

## (2) 達成すべき指標

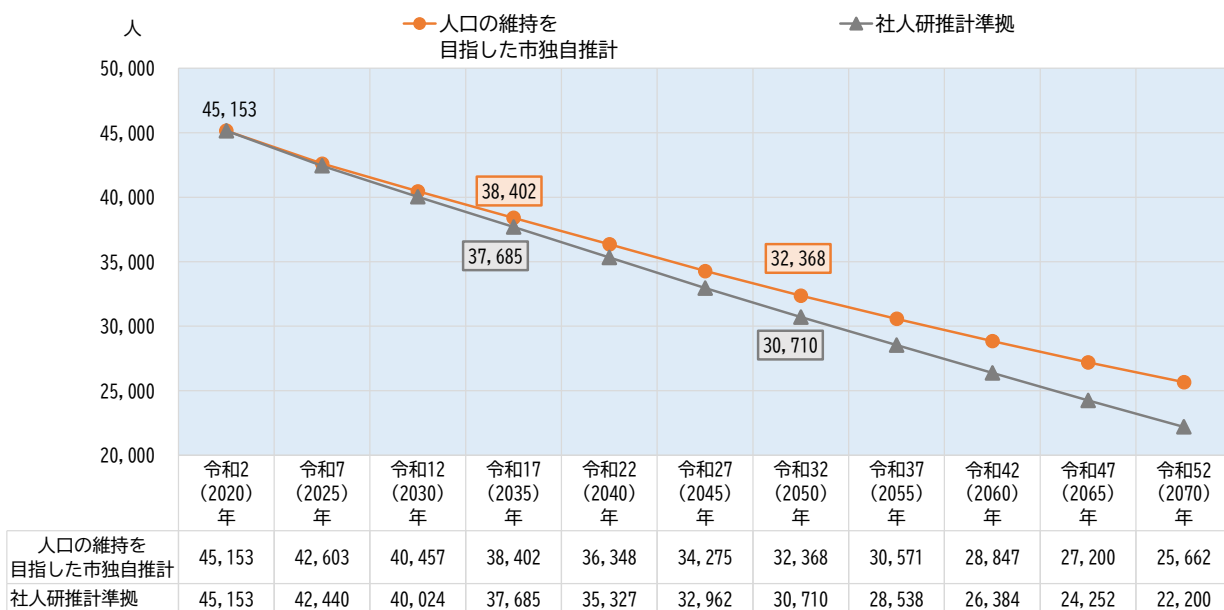
本計画全体で達成すべき指標（重要目標達成指標（KGI））として、急速な人口減少を抑制すること（将来人口）、本計画の推進により、市民のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）を高めること（幸福度）を定めます。

### ◇ 重要目標達成指標（KGI） ① 将来人口

国及び千葉県の人口が減少する中、本計画を着実に実施し、子育てしやすい環境の整備や地域産業の稼ぐ力の向上を図り、若い世代の移住・定住の実現をとおして、国立社会保障・人口問題研究所が算出した基準人口推計（令和5年12月推計）を上回る人口（国勢調査人口）の維持を目指します。



将来人口推計

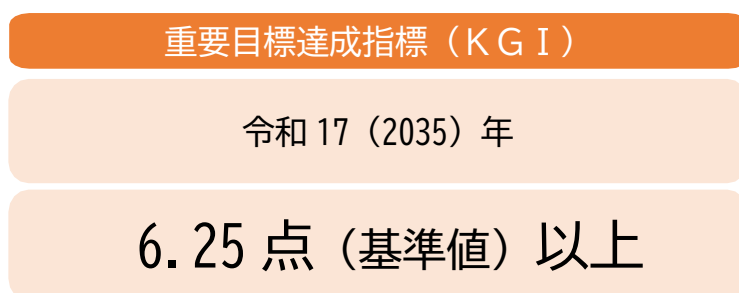


## ◇ 重要目標達成指標（KGI） ②幸福度

市民がそれぞれに幸せを実感し、本市で豊かな人生を過ごすことこそがまちづくりの本質です。

行政のできる範囲は限られているものの、経済基盤と生活環境の向上、市民の健康増進、医療環境や教育機会の充実、安全・安心なまちづくり、社会的つながりの再生等の計画的な推進をとおして、市民のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）を表す主観的な「幸福度」を高めることを目指します。

令和6年に実施した市民意識調査（16歳以上）による「幸福度」の平均点（※）を基準値として、令和17（2035）年は基準値以上を目指します。

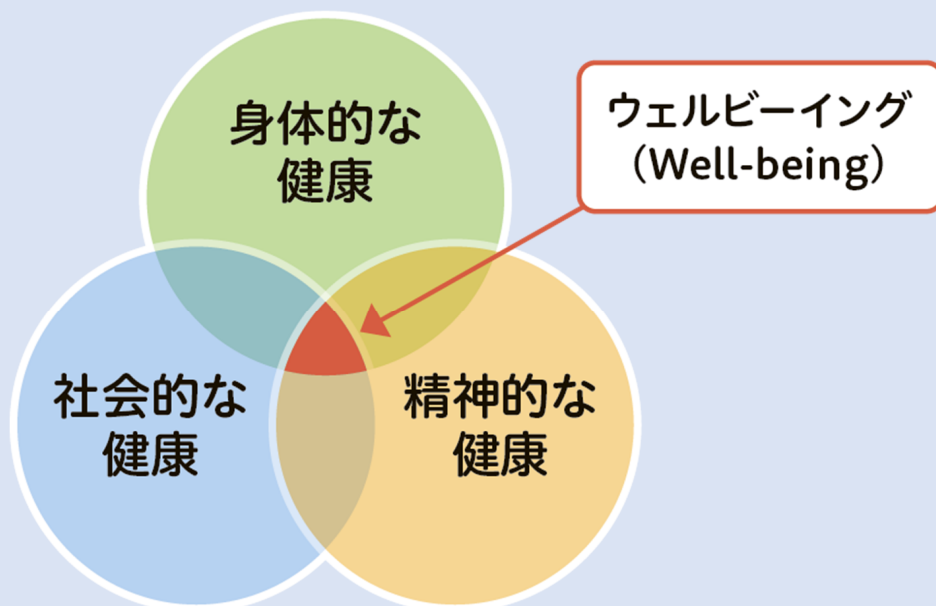


※平均点は幸福（10点）～ふつう（5点）～幸福ではない（0点）として各回答人数に乗じた合計点を点数回答者（0点～10点の総回答人数）で除して算出しました。



### ウェルビーイングとは

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念のこと。





## 第2章 都市づくりの方向性

本市は、館山湾に沿って市街地が形成されているのが特徴であり、面積の約2割が住宅や商業施設、オフィスのほか、学校や公園等の公共施設などに利用されています。

特に、JR館山駅を中心に商業地や住宅地が形成され、国道や県道など幹線道路沿いにも広がっています。

また、近年では、東京都心からのアクセスの良さ、豊かな自然環境や農水産物などの地域資源を生かし、ワーケーションや二地域居住など、柔軟で多様な働き方や暮らし方に対応した土地や建物の利活用が進んでいます。

しかしながら、全国的な人口減少や少子高齢化の進展、激甚化・頻発化する自然災害、自然環境の保全など、社会情勢や周辺環境は変化し、今後のまちづくりに対する課題や要望は複雑多岐にわたっています。

土地は、市民が生活を営み、生産活動を行うための基盤であり、その利用方法は、地域の発展やまちづくりに深い関わりをもつことから、長期的な視点による適切な利用や基準に沿った適切な開発行為が求められます。

そのため、次に掲げる事項に留意して、引き続き市民の皆様が安心して暮らし、誇りと愛着をもって住み続けられるように、地域の特性と生活環境・産業環境・自然環境の均衡に配慮した計画的かつ持続可能な土地利用を進めていきます。

### ■ 人口減少・少子高齢化に対応したコンパクトで効率的な都市構造への転換

人口減少・少子高齢化の進展等の社会経済情勢に対応するため、JR館山駅周辺エリアを本市の中心エリアとして、商業や居住機能の集積を図るとともに、誰もが安全・安心に生活できるよう、歩道の確保や段差の解消など、ユニバーサルデザインに対応した歩行者空間の創出に努めます。

また、鉄道や路線バスなどの起点であるJR館山駅は、交通結節点として、利用者の利便性向上や中心エリア及び各地区の連携を強化することにより、コンパクト・プラス・ネットワークの形成を図ります。



### ■ 社会インフラ等を活用した多様な産業の受け皿の創出による地域振興

広域幹線道路の整備を促進し、多様で豊富な地域資源を生かした交流人口の拡大、東京都心からのアクセスの良さや地域の特性、魅力を生かした移住・二地域居住の促進、新たな雇用の創出や地域経済の振興を図ります。



### ■ 激甚化・頻発化する自然災害への対応

災害発生時における避難路の確保や緊急輸送道路の閉塞等を防止するため、館山市地域防災計画等に基づき、市街地の安全性の向上を図ります。



### ■ 質の高い生活環境の整備と自然環境の保全

集約型都市構造の形成や鉄道・バス等の公共交通の活用を促進するとともに、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの導入を図るなど、エネルギーの効率的な利用を促進し、環境負荷の低減を図ります。

また、南房総国立公園区域については、自然公園法等に基づく適切な土地利用により、豊かな自然環境の保全と継承に努めます。



### ■ 農地の保全

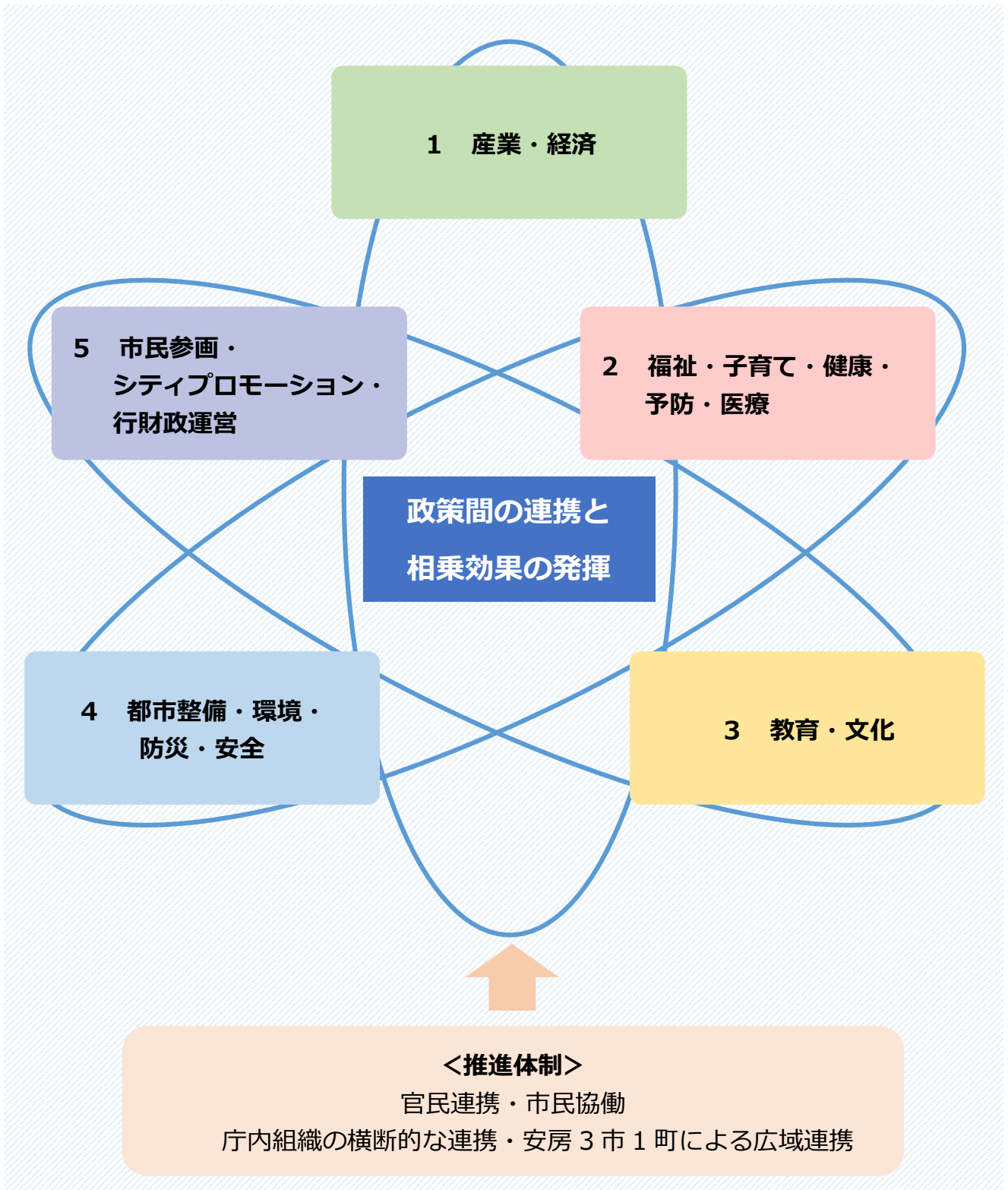
農地は、食料生産のほか、貯水による防災機能、水質浄化、生物多様性の維持といった多面的機能を有しており、単なる農業生産の場を超えて、社会や環境にとって重要な資源となっています。農地の利用に当たっては、無秩序な転用を抑制しつつ、持続可能な農業の推進や地域社会との連携により、耕作放棄地の再生など、農地の適切な管理を図ります。



## 第3章 基本目標

「まちの将来像」と「達成すべき指標」の実現・達成に向けて、5つの「基本目標」を定めます。

「基本目標」は、それぞれの目標達成を目指すとともに、政策間の連携を図り、相乗効果が発揮されることにより、本市の魅力や価値を高めます。



## 基本目標 1 産業・経済

### 10年後の姿▶

**事業成長と多様な働き方、市民所得の好循環により、人材の集積が実現している**

- 産学官民の分野横断的な協力と連携、産業全体のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の促進、観光・農水産業・商工業の連携・振興を進め、地域産業の生産性と収益力の向上による地域経済の成長と循環、市民所得の増加を目指します。
- 安房地域の多様な資源と地域特性（東京都心との近接性、一年を通じて温暖な気候）を生かし、サテライトオフィスやリモートワーク等を含めた企業誘致、起業・創業の促進、移住・二地域居住の促進とともに、柔軟で多様な自分らしい働き方や暮らし方を推進し、市内外からの人材集積と定住促進に取り組みます。

## 基本目標 2 福祉・子育て・健康・予防・医療

### 10年後の姿▶

**こどもの成長と自分らしい暮らしを見守る温かいまちが実現している**

- 充実した医療環境、先端技術の活用、人の温もり（地域の支え合い）の融合を進め、一人ひとりに寄り添う支援・サービスの最適化とともに、お互いに支え合う「地域共生社会」の進化・深化を目指します。
- すべてのこども・若者の身体的・精神的・社会的に幸福な生活（ウェルビーイング）を目指す「こどもまんなか」社会の実現に向けて、豊かな海や山の自然を生かしてこども達が健やかに成長できる環境の充実と、こどもを産み育てやすい総合的な支援の充実を通じて、若い世代の幸福度の向上を目指します。

## 基本目標 3 教育・文化

### 10年後の姿▶

**教育と歴史・文化、スポーツの力で活気あふれるまちが実現している**

- 未来を担うこども達に良好な教育環境を提供するため、少子化の時代においても特色ある多様な規模の公立学校を設置し、一人ひとりの児童生徒が自分の良さや可能性を認識し、地域に誇りと愛着を持ち、豊かな人生を切り拓くことができるこども達を育みます。
- 「人生100年時代」にふさわしい生涯学習の推進、市民と共に地域の歴史と文化を守り育てるほか、新たな楽しみ方や自然環境を生かしたスポーツの推進を図るなど、関係人口の一層の拡大に取り組みます。

## 基本目標 4 都市整備・環境・防災・安全

### 10年後の姿▶

### 豊かな自然がいつもある、快適で安全なまちが実現している

- 市民生活を支えると同時に交流機能と防災機能を高めるインフラ（社会基盤施設・設備）の適切な維持管理を推進します。
- 快適な居住性と公共交通ネットワークの形成を連携して取り組むコンパクト・プラス・ネットワークの都市構造を目指し、地域公共交通網をはじめとする生活分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）に取り組めます。
- 地域コミュニティや関係機関等との連携により、市民が安心して暮らすことができるよう、空家等の発生の抑制や利活用、地域防災力の向上をはじめとする防災対策に取り組めます。
- 地球温暖化を抑制するゼロカーボンシティ（脱炭素都市）への転換を軸に、多様な主体との協働・連携により、持続可能な社会の構築を目指し、資源の効率的利用や環境保全を重要視する資源循環型社会や地域循環共生圏、GX（グリーン・トランスフォーメーション）を推進し、豊かな海と緑を感じる心地よい住環境の確保を目指します。

## 基本目標 5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営

### 10年後の姿▶

### まちづくりへの市民参画が活発となり、市民の幸福度を高める行財政運営が実現している

- 性別や年齢などの多様な背景や価値観を尊重する多文化共生（多様性と包摂性のある社会）の視点を軸に、シティプロモーション（地域ブランディング）を推進し、積極的な市民参画によるまちづくりを目指します。
- 市民の幸福度を高めるため、社会情勢に応じて市役所の業務や組織をアップデート（最適化）する行政運営や財政力の強化、コンプライアンスの強化、安房3市1町の広域連携に取り組めます。
- 今後も大変厳しい財政状況が続くと予想されることから、ふるさと納税やクラウドファンディングなどの多様な財源を確保し、より良いまちづくりに向けて円滑に事業を行うことができる環境づくりに取り組めます。